

平成23年度版『小学書写』年間指導計画案について

本資料は、弊社発行の教科書、平成23年度版『小学書写』の年間指導計画を作成するための参考として、学年ごとにまとめたものです。各地域・学校の実態に合わせてご活用ください。

【本資料の構成要素】

各学年とも、以下の項目を一覧表にまとめました。

目標(学習のめあて)

…学習指導要領に示される各学年の指導事項をもとに設定した、学年の目標(学習のめあて)です。

配当時数

…学習指導要領に示される「指導計画の作成と取扱い」を考慮し、毛筆と硬筆の関連的な指導ができるように設定した年間の総授業時数のめやすです。

○月……………指導する時期を示しています。

○単元・主教材……………単元のまとまりと、各単元内に構成される主教材

をわかりやすくするために、項目を分けて示しています。単元名および教材名のマークは、以下の通りです。

◆…生活に生かそう (全学年)

◎…コラム (全学年)

◇…聞いて書こう (第三学年以上)

☆…発展的な学習内容 (第五・六学年)

なお、本資料では指導時期(月)を優先して配列しているため、教科書の掲載順と異なるところが部分的にあります。

○教科書ページ……………教科書掲載のページを示しています。

○配当時数……………指導に必要な、単元および主教材ごとの授業時数を示しています。コラムや「発展的な学習内容」

の教材には、具体的な配当時数を充てておりません。これは、児童の興味・関心や、学校・学級の実態に応じて、適宜扱うようにしていただきたいためです。

○目標と主な学習活動…単元および主教材の目標と、その具体的な学習活

動を焦点化して示しています。

○評価規準……………目標と学習活動に即した評価規準を、四つの観点

で示しています。

評価規準について

【小学校 国語科書写としての学習評価】

中央教育審議会による「児童生徒の学習評価の在り方について」では、学習指導要領において示された基礎的・基本的な知識・技能、それらを活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等及び主体的に学習に取り組む態度の育成が確実に図られるよう、学習評価を通じて、学習指導の在り方を見直すことや個に応じた指導の充実を図ること、学校における教育活動を組織として改善すること等が重要とされています。それを受けて、文部科学省からの「小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校等における児童生徒の学習評価及び指導要録の改善等について」において、「学習評価の改善に関する基本的な考え方について」として、新しい評価規準に関する四つの観点が示されました。

学習評価における観点については、新しい学習指導要領を踏まえ、「関心・意欲・態度」、「思考・判断・表現」、「技能」及び「知識・理解」に整理し、各教科等の特性に応じて観点を示している。設置者や学校においては、これに基づき適切な観点を設定する必要があること。

その一方、「各教科等・各学年等の評価の観点等及びその趣旨」の〈小学校 国語〉では、「国語への関心・意欲・態度」「話す・聞く能力」「書く能力」「読む能力」「言語についての知識・理解・技能」の五つの観点が示されています。このうち、「言語についての…」の趣旨に、書写の内容が示されています。

●第一学年及び第二学年

…文字を正しく丁寧に書いている。

●第三学年及び第四学年

…文字を形や大きさ、配列、筆圧などに注意して書いている。

●第五学年及び第六学年

…文字を書く目的や用紙全体との関係、点画のつながりなどに注意して書いている。

(いずれも該当部分の抜粋)

つまり、書写は「知識・理解・技能面での学習評価が求められる」ことになります。

【日本文教出版『小学書写』の評価規準】

弊社では、平成23年度版『小学書写』を編集するにあたって、学習指導要領に示される「国語科の目標及び内容」を踏まえつつ、書写で学習したことが実際の日常生活や他教科の学習活動に役立つことを目指し、各領域（話す・聞く、書く、読む）の言語活動を数多く取り入れました。また、自ら学び、課題を解決していく能力を身につけるためには、学習過程を明確にしながら、学習評価についても「結果(成果)」のみではなく「過程」もたいせつにしなければならぬと考えています。このような考えのもとで、新しい教育課程全般に関わる四つの評価規準の観点を国語科書写にも適用し、『小学書写』の評価規準として設定しました。効果的・効率的な学習活動と学習評価を関連的に行うための一助となれば幸いです。

※評価規準については、文部科学省・国立教育政策研究所において、現在も継続的に審議されています。今後の状況次第では、本資料の内容を変更する場合がございます。ご了承ください。

年間指導計画案（第一学年）

目標（学習のめあて）

○書く姿勢や筆記具の持ち方に気をつけて、丁寧に書く。
○文字の形、点画の方向、筆順に気をつけて、丁寧に書く。

配当時数

32時間

5		4			月	
■ひらがな		あいさつ	いろいろなせん	かくしせい	単元	
(扉)					主教材	
はらい・とめ					教科書P	
8・9		7	6	4・5	2・3	
2		1			配当時数	
<p>○払いや止めに気をつけて書く。 *払いや止めに気をつけて、丁寧に書く。 *払いと止めの書き方の違いを理解する。</p>		<p>○隠れている平仮名を見つめる。 *絵の中に隠れている平仮名を見つめる。</p>	<p>○あいさつを書く。 ○自分の名前を書く。 *「おはよう」、「ありがとう」を丁寧に書く。 *自分の名前を丁寧に書く。</p>	<p>○鉛筆を正しく持ち、いろいろな線をなぞり書きする。 *鉛筆の持ち方に気をつけて、いろいろな線をなぞり書きする。</p>	<p>○文字を書く姿勢や、鉛筆の持ち方と手の置き方を身につける。 *足の位置や腰のかけ方、手の置き方に気をつけて書く。 *正しい鉛筆の持ち方を知り、鉛筆を持つ練習をする。</p>	<p>目標と主な学習活動</p>
<p>関 適切な姿勢・鉛筆の持ち方で、払いや止めに気をつけて丁寧に書くことができる。 関 払いや止めに正しく書くことができる。 知 平仮名には、払いや止めという書き方があることを理解している。</p>		<p>関 平仮名の学習に興味・関心を持ち、意欲的に取り組もうとしている。 関 隠れた平仮名を見つけ出そうとしている。</p>	<p>関 適切な姿勢・鉛筆の持ち方で書くことができる。 関 縦書きと横書きで、一字一字を丁寧に書くことができる。 知 縦書きと横書きがあることを理解している。</p>	<p>関 適切な姿勢・鉛筆の持ち方で、楽しく書くことができる。 関 止めや払い、折れや曲がりの線の違いを意識して、丁寧になぞることができる。</p>	<p>関 適切な姿勢・鉛筆の持ち方で書くことができる。 関 適切な姿勢・鉛筆の持ち方について、教科書を見て確かめている。 知 適切な姿勢・鉛筆の持ち方を理解している。</p>	<p>評価規準 関：関心・意欲・態度 関：技能 思：思考・判断・表現 知：知識・理解</p>

7	6	5		
てん「、」、 まる「。」、 かぎ「」	ちいさいもじ	かたち	むすび	まがり・ おりかえし
16	15	14	12・13	10・11
1	1	1	2	2
<p>○書くところを確かめて書く。</p> <p>* 句読点やかぎの書き方、書く位置に気をつけて、丁寧に書く。</p> <p>* 句読点やかぎの書き方、書く位置を理解する。</p>	<p>○書くところを確かめて書く。</p> <p>* 促音・拗音の書く位置に気をつけて、丁寧に書く。</p> <p>* 促音・拗音の文字の大きさや書く位置を理解する。</p>	<p>○どんな形をしているか確かめて書く。</p> <p>* 平仮名の外形に気をつけて、丁寧に書く。</p> <p>* 平仮名の大きかな形（概形）をとらえる。</p>	<p>○結びの形に気をつけて書く。</p> <p>* 結びの形に気をつけて、丁寧に書く。</p> <p>* 結びの形や書き方を理解する。</p>	<p>○曲がりや折り返しに気をつけて書く。</p> <p>* 曲がりや折り返しに気をつけて、丁寧に書く。</p> <p>* 筆順を確かめながら書く。</p> <p>* 濁音・半濁音の書き方を理解する。</p>
<p>④適切な姿勢・鉛筆の持ち方で、句読点やかぎの書き方・書く位置に気をつけて丁寧に書くこととしている。</p> <p>⑤句読点やかぎの書き方に気をつけて、正しく書くことができる。</p> <p>⑥句読点やかぎの書き方を理解している。</p>	<p>④適切な姿勢・鉛筆の持ち方で、促音・拗音の書き方に気をつけて丁寧に書くこととしている。</p> <p>⑤促音・拗音の文字の大きさや書く位置に気をつけて、正しく書くことができる。</p> <p>⑥小さく書く平仮名の書き方を理解している。</p>	<p>④適切な姿勢・鉛筆の持ち方で、平仮名の外形に気をつけて丁寧に書くこととしている。</p> <p>⑤平仮名の外形をとらえて、正しく書くことができる。</p> <p>⑥平仮名には、いろいろな外形があることを理解している。</p>	<p>④適切な姿勢・鉛筆の持ち方で、結びの形に気をつけて丁寧に書くこととしている。</p> <p>⑤いろいろな形の結びを正しく書くことができる。</p> <p>⑥平仮名には、いろいろな結びの形があることを理解している。</p>	<p>④適切な姿勢・鉛筆の持ち方で、曲がりや折り返しに気をつけて丁寧に書くこととしている。</p> <p>⑤筆順に気をつけて、曲がりや折り返し、濁音・半濁音を正しく書くことができる。</p> <p>⑥平仮名には、曲がりや折り返しという書き方があることを理解している。</p>

9		9	7
<p style="text-align: center;">■かん字</p>	<p style="text-align: center;">◎フェルトペン でかこう</p>		
<p style="text-align: center;">いろいろな せん</p>	<p style="text-align: center;">(扉)</p>	<p style="text-align: center;">ひらがなの まとめ</p>	<p style="text-align: center;">◆えにつき</p>
22	21	20	17
1		0	1
<p>○いろいろな線を書く。 *書く方向に気をつけて、いろいろな線を書く。 *漢字の画に使われている「止め・はね・払い・折れ・曲がり」を見つける。</p>	<p>○隠れている漢字を見つける。 *絵の中に隠れている漢字を見つける。</p>	<p>○文字の形や筆順を確かめて、フェルトペンで書く。 *文字の形や筆順を確かめながら、フェルトペンで書く。 *フェルトペンの持ち方を知る。</p>	<p>○読みやすく丁寧に書く。 *絵日記を読みやすく丁寧に書く。</p>
<p>関 適切な姿勢・鉛筆の持ち方で、丁寧に絵日記を書こうとしている。</p> <p>関 適切な姿勢・執筆で、いろいろな線を丁寧に書こうとしている。</p> <p>関 漢字に使われている線(点画)を確かめながら、正しく書くことができる。</p> <p>知 漢字には、いろいろな線が使われていることを理解している。</p>	<p>関 漢字の学習に興味・関心を持ち、意欲的に取り組もうとしている。</p> <p>関 隠れた漢字を見つけ出そうとしている。</p> <p>関 フェルトペンの持ち方に気をつけて、短冊を楽しく書こうとしている。</p> <p>関 文字の形や筆順に気をつけて、正しく丁寧に書くことができる。</p> <p>知 フェルトペンの持ち方を正しく理解している。</p>	<p>関 これまでの学習を通して、平仮名の書き方を正しく理解している。</p> <p>関 フェルトペンの持ち方に気をつけて、短冊を楽しく書こうとしている。</p> <p>関 文字の形や筆順に気をつけて、正しく丁寧に書くことができる。</p> <p>知 フェルトペンの持ち方を正しく理解している。</p>	<p>関 適切な姿勢・鉛筆の持ち方で、丁寧に絵日記を書こうとしている。</p> <p>関 観察したことや観察して感じたことを、絵日記に書いている。</p> <p>関 平仮名の書き方(点画の書き方、外形、筆順など)に気をつけて、正しい字形で書くことができる。</p> <p>知 絵日記の書き方を正しく理解している。</p>

かたち	かくのながさ	ひつじゅん	おれ・まがり	はらい・はね	とめ
28	27	26	25	24	23
1	1	1	1	1	1
<p>○漢字の形に気をつけて書く。 *漢字の外形に気をつけて、丁寧を書く。 *漢字の外形をとらえる。</p>	<p>○画の長さ気をつけて書く。 *画の長さ気をつけて、丁寧を書く。</p>	<p>○筆順に気をつけて書く。 *筆順に気をつけて、丁寧に書く。 *漢字を書くときの筆順を知る。</p>	<p>○折れや曲がりに気をつけて書く。 *折れや曲がりに気をつけて、丁寧に書く。 *折れや曲がりの書き方を理解する。</p>	<p>○払いやはねに気をつけて書く。 *払いやはねに気をつけて、丁寧に書く。 *払いやはねの書き方を理解する。</p>	<p>○止めに気をつけて書く。 *止めに気をつけて、丁寧に書く。</p>
<p>④適切な姿勢・執筆で、漢字の外形に気をつけて丁寧に書くこととしている。 ⑤漢字の外形をとらえて、正しく書くことができる。 ⑥漢字には、いろいろな外形があることを理解している。</p>	<p>④適切な姿勢・執筆で、横画や縦画の長さ気をつけて丁寧に書くこととしている。 ⑤横画や縦画の長さを正しく書くことができる。 ⑥横画や縦画の長さを理解している。</p>	<p>④適切な姿勢・執筆で、筆順に気をつけて丁寧に書くこととしている。 ⑤筆順の決まりを確かめて、正しい筆順で書くことができる。 ⑥筆順には決まりがあることを理解している。</p>	<p>④適切な姿勢・執筆で、折れや曲がりに気をつけて丁寧に書くこととしている。 ⑤折れや曲がりを正しく書くことができる。 ⑥折れや曲がりの書き方を理解している。</p>	<p>④適切な姿勢・執筆で、払いやはねに気をつけて丁寧に書くこととしている。 ⑤払いやはねを正しく書くことができる。 ⑥払いやはねの書き方を理解している。</p>	<p>④適切な姿勢・執筆で、止めに気をつけて丁寧に書くこととしている。 ⑤止めを正しく書くことができる。 ⑥止めの書き方を理解している。</p>

1	12	11
<p style="text-align: center;">三かたかな</p>		
		<p style="text-align: center;">(扉)</p>
<p style="text-align: center;">はらい</p>		
<p style="text-align: center;">34</p>	<p style="text-align: center;">33</p>	<p style="text-align: center;">32</p>
<p style="text-align: center;">1</p>	<p style="text-align: center;">1</p>	<p style="text-align: center;">1</p>
<p>○払いの向きに気をつけて書く。 *払いの向きに気をつけて、丁寧を書く。 *払いの向きを理解する。 *濁音・半濁音の書き方や、書く位置を理解する。</p>	<p>○平仮名と片仮名を見分ける。 *絵の中の文字について、平仮名と片仮名を見分ける。</p>	<p>○筆順に気をつけて書く。 *筆順に気をつけて、正しく丁寧を書く。 *間違えやすい筆順の漢字を知る。</p>
<p>関適切な姿勢・執筆で、払いに気をつけて丁寧に書くこととしている。 関払いの方向や、濁音・半濁音を正しく書くことができる。 知払いの方向を理解している。</p>	<p>関片仮名の学習に興味・関心を持ち、意欲的に取り組もうとしている。 関片仮名で書き表す文字を意欲的に見つけ出そうとしている。 関適切な姿勢・執筆で、書き初めを書こうとしている。 関一字一字を丁寧に、書き初めを書いている。 関これまでに学習したことを振り返りながら、文字の形や点画の書き方に気をつけて書くことができる。 知書き初めの書き方を理解している。</p>	<p>関適切な姿勢・執筆で、よく似ている部分の書き方に気をつけて丁寧に書くこととしている。 関よく似ている部分を見つけて、正しく書くことができる。 知似ている部分を持つ漢字があることを理解している。 関適切な姿勢・執筆で、間違えやすい筆順に気をつけて、漢字を丁寧に書くこととしている。 関筆順を確かめて、正しく丁寧に書くことができる。 知間違えやすい漢字の筆順を理解している。</p>

3		2			1
よみやすく かこう	かたかなの ひょう	一年生で ないうかん字	かたち	ひらがなと かたかな	おれ・まがり
表3	40	38・39	37	36	35
1	1	1	1	1	1
<p>○学習したことを生かして、カードやめあてなどを書く。 *学習したことを生かして、読みやすく丁寧を書く。</p>	<p>○片仮名五十音を丁寧を書く。 *片仮名五十音を丁寧を書く。</p>	<p>○一年生で習う漢字を丁寧を書く。 *一年生で学習する漢字を丁寧を書く。 *おはじきを並べて、漢字作りを楽しむ。</p>	<p>○どんな形をしているか確かめて書く。 *片仮名の外形に気をつけて、丁寧に書く。 *片仮名の外形をとらえる。</p>	<p>○違いに気をつけて書く。 *形が似ている平仮名と片仮名の違いに気をつけて、丁寧に書く。</p>	<p>○折れや曲がりをはっきり書く。 *折れや曲がりに気をつけて、はっきりと丁寧に書く。 *片仮名の折れと曲がりの書き方が、漢字の折れと曲がりの書き方と同じであることを理解する。 *拗音・促音・長音の書き方や書く位置を理解する。</p>
<p>関 書写で学習したことを生かして、カードやめあてを書くこととしている。 関 どんなことに気をつけて書かなければならなかったかを考えて書いている。 知 筆記具を選んで、文字の形や筆順に気をつけて書くことを理解している。</p>	<p>関 適切な姿勢・執筆で、片仮名五十音を丁寧に書くこととしている。 関 片仮名の字形や書き方に気をつけて、正しく書くことができる。</p>	<p>関 適切な姿勢・執筆で、漢字の字形に気をつけて、正しい筆順で丁寧に書くこととしている。 関 漢字の字形に気をつけて、正しい筆順で書くことができる。</p>	<p>関 適切な姿勢・執筆で、片仮名の外形に気をつけて丁寧に書くこととしている。 関 片仮名の外形をとらえて、正しく書くことができる。 関 片仮名の外形を理解している。</p>	<p>関 適切な姿勢・執筆で、平仮名と片仮名の違いに気をつけて丁寧に書くこととしている。 関 形の似ている平仮名と片仮名の違いを確かめて、正しく書くことができる。 知 平仮名と片仮名の違いを理解している。</p>	<p>関 適切な姿勢・執筆で、折れや曲がりに気をつけて丁寧に書くこととしている。 関 折れと曲がりの違いや拗音・促音・長音を正しく書くことができる。 知 折れと曲がりの違いを理解している。</p>

年間指導計画案（第二学年）

目標（学習のめあて）

○書く姿勢や筆記具の持ち方に気をつけて、正しく書く。
○文字の形、点画の方向、筆順に気をつけて、正しく書く。

配当時数

32時間

月	単元	主教材	教科書P	配当時数	目標と主な学習活動	評価規準
4	書くしせい		2・3	1	<p>○文字を書く姿勢や、鉛筆の持ち方と手の置き方を身につける。</p> <p>*文字を書く姿勢や鉛筆の持ち方に気をつけて書く。</p> <p>*文字を書く姿勢や鉛筆の持ち方を確かめる。</p>	<p>関：関心・意欲・態度</p> <p>思：思考・判断・表現</p> <p>知：知識・理解</p>
4	思い出つて書くこう		4・5	1	<p>○一年生で習ったことに気をつけて漢字を書く。</p> <p>*一年生で学習した書き方に気をつけて漢字を書く。</p>	<p>関：適切な姿勢・執筆で、字形や筆順に気をつけて書くことができる。</p> <p>関：正しい筆順で、字形に気をつけて正しく丁寧に書くことができる。</p>
5	学校生活		6	1	<p>○姿勢や鉛筆の持ち方に気をつけて書く。</p> <p>*姿勢や鉛筆の持ち方に気をつけて、平仮名・片仮名・漢字を正しく書く。</p> <p>*文字を書く姿勢や鉛筆の持ち方を確かめる。</p>	<p>関：適切な姿勢・鉛筆の持ち方で書くこととしている。</p> <p>関：平仮名・片仮名・漢字の形に気をつけて、正しく丁寧に書くことができる。</p> <p>関：平仮名・片仮名・漢字の書き方を理解している。</p>
5	■かたかな		7	1	<p>○字形の正しくない片仮名を見つける。</p> <p>*文字の形や書き方が正しくない片仮名を見つける。</p>	<p>関：一年生で学習したことを思い出しながら、積極的に取り組もうとしている。</p> <p>関：字形や点画が正しくない片仮名を意欲的に見つけ出そうとしている。</p>
5	画のおわり		8	1	<p>○止め・はね・払いに気をつけて書く。</p> <p>*止め・はね・払いに気をつけて、正しく書く。</p> <p>*片仮名の画の止め・はね・払いの書き方を理解する。</p>	<p>関：適切な姿勢・執筆で、止め・はね・払いに気をつけて書くこととしている。</p> <p>関：終筆部分を正しく丁寧に書くことができる。</p> <p>知：終筆部分の書き方を理解している。</p>

ひつじゅん	形	画のつき方と 交わり方	画の方こう	画のとちゅう
13	12	11	10	9
1	1	1	1	1
<p>○筆順に気をつけて書く。 *筆順に従って、字形を整えて書く。 *よく似た片仮名の筆順を理解する。</p>	<p>○形に気をつけて書く。 *片仮名の外形に気をつけて、正しく書く。 *片仮名の外形をとらえる。</p>	<p>○つき方・交わり方に気をつけて書く。 *画のつき方と交わり方に気をつけて、正しく書く。 *片仮名の画のつき方・交わり方を正しく理解する。</p>	<p>○方向に気をつけて書く。 *画の方向に気をつけて、正しく書く。 *点画の方向の違いで、他の文字と区別がつかなくなる場合があることを理解する。</p>	<p>○折れ・曲がりに気をつけて書く。 *折れ・曲がりに気をつけて、正しく書く。 *片仮名の画の折れ・曲がりの書き方を理解する。</p>
<p>④適切な姿勢・執筆で、筆順に気をつけて書くこととしている。 ⑤筆順を確かめて、正しい筆順で書くことができる。 ⑥間違えやすい片仮名の筆順を理解している。</p>	<p>④適切な姿勢・執筆で、片仮名の外形に気をつけて書くこととしている。 ⑤片仮名の外形をとらえて、正しく丁寧に書くことができる。 ⑥片仮名の外形を理解している。</p>	<p>④適切な姿勢・執筆で、画のつき方・交わり方に気をつけて書くこととしている。 ⑤画のつき方・交わり方を正しく丁寧に書くことができる。 ⑥画の付き方と交わり方を理解している。</p>	<p>④適切な姿勢・執筆で、画の方向に気をつけて書くこととしている。 ⑤画の方向を正しく丁寧に書くことができる。 ⑥画の方向を理解している。</p>	<p>④適切な姿勢・執筆で、折れ・曲がりに気をつけて書くこととしている。 ⑤送筆部分を正しく丁寧に書くことができる。 ⑥送筆部分の書き方を理解している。</p>

	9	7	6
◎フェルトペン の書いじ			
	◆原こう用紙	かたかなの まとめ	◆絵日記
20	18・19	16・17	14・15
0	2	2	2
<p>○文字の形や筆順に気をつけて、フェルトペンで丁寧を書く。</p> <p>*文字の形や筆順に気をつけて、フェルトペンで丁寧に書く。</p> <p>*フェルトペンの持ち方を確認する。</p>	<p>○原稿用紙の書き方に気をつけて書く。</p> <p>*原稿用紙の使い方に気をつけて、丁寧に書く。</p> <p>*句読点や「」（かぎ）の書く位置を理解する。</p>	<p>○片仮名の単元で学習したことを生かして書く。</p> <p>*片仮名の単元で学習したことを生かし、筆順や字形に気をつけて、正しく書く。</p> <p>*拗音・濁音・半濁音の位置と大きさを確かめる。</p>	<p>○横の中心を揃えて書く。</p> <p>*横書きのものを、横の中心を揃えて文字が曲がらないように気をつけて書く。</p> <p>*日常生活の中では、横書きのものが多くことに気づく。</p>
<p>知 フェルトペンの持ち方を正しく理解している。</p> <p>関 フェルトペンの持ち方に気をつけて、カードなどを楽しく書こうとしている。</p> <p>技 文字の形や筆順に気をつけて、正しく丁寧に書くことができる。</p>	<p>関 適切な姿勢・執筆で、文字の形に気をつけて、原稿用紙に書こうとしている。</p> <p>関 経験したことを思い出しながら、生き生きと作文に書いている。</p> <p>技 原稿用紙の使い方や文字の形に気をつけて、正しく丁寧に書くことができる。</p> <p>知 原稿用紙の書き方（句読点や括弧の書く位置）を理解している。</p>	<p>関 適切な姿勢・鉛筆の持ち方で、片仮名五十音を丁寧に書こうとしている。</p> <p>技 片仮名五十音と拗音・濁音・半濁音を正しく書くことができる。</p> <p>知 これまでの学習を通して、片仮名の書き方を正しく理解している。</p>	<p>関 適切な姿勢・鉛筆の持ち方で、横の中心に気をつけて、絵日記を書こうとしている。</p> <p>関 観察したことや観察して感じたことを、絵日記に書いている。</p> <p>技 横の中心に気をつけて、正しい字形で書くことができる。</p> <p>知 絵日記の書き方を正しく理解している。</p>

11		10			
					(扉)
画の 交わり方	画の つき方	画の 間	画の 長さ	画の 方こう	
27	26	25	24	22・23	21
1	1	1	1	2	
<p>○画の交わり方に気をつけて書く。 *画の交わり方に気をつけて、正しく書く。 *画の交わり方を理解する。</p>	<p>○画のつき方に気をつけて書く。 *画のつき方に気をつけて、正しく書く。 *画のつき方を理解する。</p>	<p>○画の間に気をつけて書く。 *画の間に気をつけて、正しく書く。 *横画と縦画の間、縦画と縦画の間を同じくらいにすると、文字の形を整えやすいことを知る。</p>	<p>○画の長さに気をつけて書く。 *画の長さに気をつけて、正しく書く。 *横画や縦画の長さの違いを理解する。</p>	<p>○折れてからの方向の違いに気をつけて書く。 ○曲がりや反りの方向の違いに気をつけて書く。 *折れてからの方向の違いに気をつけて、正しく書く。 *曲がりや反りの方向の違いに気をつけて、正しく書く。 *折れの角度や方向、払いやはねの方向、曲がりや反りの方向を理解する。</p>	<p>○漢字の隠れた部分を考える。 *絵の中にある漢字の隠れた部分を考える。</p>
<p>関 適切な姿勢・執筆で、画の交わり方に気をつけて丁寧に書こうとしている。</p> <p>技 画の交わり方を正しく書くことができる。</p> <p>知 画の交わり方の違いを理解している。</p>	<p>関 適切な姿勢・執筆で、画のつき方に気をつけて丁寧に書こうとしている。</p> <p>技 画のつき方を正しく書くことができる。</p> <p>知 画のつき方の違いを理解している。</p>	<p>関 適切な姿勢・執筆で、横画や縦画の間に気をつけて丁寧に書こうとしている。</p> <p>技 画の間を正しく書くことができる。</p> <p>知 画の間を理解している。</p>	<p>関 適切な姿勢・執筆で、画の長さに気をつけて丁寧に書こうとしている。</p> <p>技 横画や縦画の長さを正しく書くことができる。</p> <p>知 横画や縦画の長さの違いを理解している。</p>	<p>関 適切な姿勢・執筆で、画の方向と終筆部分に気をつけて丁寧に書こうとしている。</p> <p>技 画の方向と終筆部分の違いを正しく書くことができる。</p> <p>知 画の方向と終筆部分の違いを理解している。</p>	<p>関 漢字の学習に興味・関心を持ち、意欲的に取り組もうとしている。</p> <p>恩 漢字の隠れた部分の書き方を、考えたり調べたりしようとしている。</p>

1		12		11	
目かん字②					
形	(扉)	中心	◆書きぞめ	◆年がじよう	ひつじゅん
34	33	32	31	30	28・29
1		1	1	1	2
<p>○だいたいの形を確かめて書く。 *漢字のだいたいの形(概形)を確かめて、正しく書く。</p>	<p>○似ているところのある漢字を見つける。 *漢字のどの部分が似ているかを考える。</p>	<p>○中心を考えて、まっすぐ書く。 *漢字の中心を考えて、字形を整えて書く。 *漢字の中心をとらえる。</p>	<p>○ゆっくりと丁寧を書く。 *筆順や文字の形に気をつけて、丁寧に、おさまりよく書く。</p>	<p>○心を込めて書く。 *文字の形や大きさに気をつけて、一字一字心を込めて書く。 *年賀状の書き方を確かめる。</p>	<p>○正しい筆順で書く。 *漢字の筆順の決まりを知り、正しい筆順で、丁寧に書く。 *間違えやすい漢字の筆順を知る。 *筆順の違いによって字形が変わることを理解する。</p>
<p>関 適切な姿勢・執筆で、漢字の外形に気をつけて丁寧に書くこととしている。</p> <p>知 漢字の外形をとらえて、正しく書くことができる。いろいろな外形があることを理解している。</p>	<p>関 漢字の学習に興味・関心を持ち、意欲的に取り組もうとしている。</p> <p>知 似ている部分がある漢字を意欲的に見つけ出そうとしている。</p>	<p>関 適切な姿勢・執筆で、中心に気をつけて丁寧に書くこととしている。</p> <p>知 中心を正しく書くことができる。</p> <p>知 漢字の中心を理解している。</p>	<p>関 適切な姿勢・執筆で、書き初めを書くこととしている。</p> <p>知 一字一字を丁寧に、書き初めを書いている。</p> <p>知 これまでに学習したことを振り返りながら、文字の形や点画の書き方に気をつけて書くことができる。</p> <p>知 書き初めの書き方を理解している。</p>	<p>関 適切な姿勢・執筆で、年賀状を書くこととしている。</p> <p>知 一字一字に心を込めて、丁寧に年賀状を書いている。</p> <p>知 これまでに学習したことを振り返りながら、文字の形や点画の書き方に気をつけて書くことができる。</p> <p>知 年賀状の書き方(表書き)を理解している。</p>	<p>関 適切な姿勢・執筆で、筆順に気をつけて書くこととしている。</p> <p>知 筆順の決まりを確かめて、正しい筆順で書くことができる。</p> <p>知 筆順には決まりがあることを理解している。</p>

3		2		
読みやすく 書くこと	ひらがなの ひょう	二年生で なろうかん字	かん字の まとめ	にている ところの ある かん字
表3	40	37～39	36	35
1	1	1	1	1
<p>○学習したことを生かして、絵日記やカードを書く。 *学習したことを生かして、絵日記やカードに、読みやすく正しく書く。</p>	<p>○平仮名五十音を丁寧を書く。 *平仮名五十音を正しく書く。</p>	<p>○二年生で習う漢字を丁寧に書く。 *二年生で学習する漢字を正しく書く。</p>	<p>○漢字の単元で学習したことを確かめて書く。 *画の方向、長さなどに気をつけて、漢字を正しく書く。</p>	<p>○違いに気をつけて、正しく書く。 *似ているところのある漢字の違いに気をつけて、正しく書く。</p>
<p>関 書写で学習したことを生かして、カードや絵日記を書くこととしている。 思 どんなことに気をつけて書かなければならなかったかを考えて書いている。 知 筆記具を選んで、文字の形や筆順に気をつけて書くことを理解している。</p>	<p>関 適切な姿勢・執筆で、平仮名五十音を丁寧に書くことができる。 関 平仮名の字形や書き方に気をつけて、正しく書くことができる。</p>	<p>関 適切な姿勢・執筆で、漢字の字形に気をつけて、正しい筆順で丁寧に書くこととしている。 関 漢字の字形に気をつけて、正しい筆順で書くことができる。</p>	<p>関 適切な姿勢・執筆で、これまでに学習したことを確かめながら丁寧に書くこととしている。 関 これまでに学習したことを正しく書くことができる。 知 これまでの学習を通して、漢字の書き方を正しく理解している。</p>	<p>関 適切な姿勢・執筆で、よく似ている部分の書き方に気をつけて丁寧に書くこととしている。 関 よく似ている部分を見つけて、正しく書くことができる。 知 似ている部分を持つ漢字があることを理解している。</p>

年間指導計画案（第三学年）

目標（学習のめあて）

- 文字の組み立て方に気をつけて、形を整えて書く。
- 漢字や仮名の大きさや配列に気をつけて書く。
- 毛筆を使って、点画の筆使いや種類に気をつけて書く。

配当時数

34時間

月	単元	主教材	教科書P	配当時数	目標と主な学習活動	評価規準
4	筆の持ち方を たしかめよう		2	1	○用具のよい持ち方を身につけ、筆の部分の名前を知る。 *用具の適切な持ち方を練習する。 *筆の部分の名前を知り、確かめる。 ○毛筆書写のよい姿勢を身につける。 *毛筆で書くときの適切な姿勢について知り、練習する。	<p>関：関心・意欲・態度 思：思考・判断・表現 知：知識・理解</p> <p>関：適切な持ち方で筆や鉛筆を持つようとしている。 関：筆や鉛筆の適切な姿勢・鉛筆の持ち方について、教科書を見て確かめている。 知：筆の部分の名称を理解し、筆の持ち方が適切である。 関：適切な筆の持ち方で、書く姿勢を適切にしようとしている。 思：書く姿勢について、教科書を見て確かめている。 知：毛筆で書く時の適切な姿勢を理解している。</p>
	用具のおき方を たしかめよう		3・4		<p>○毛筆書写の用具の種類・名称・使い方・置き方・後始末の仕方を知る。 *毛筆書写の用具の種類・名称・使い方・置き方・後始末の仕方を知り、実際にやってみる。</p>	<p>関：用具の使い方（筆・墨・硯など）や扱い方（置き方・後始末など）について、教科書を見て確かめている。 知：用具の使い方や扱い方を理解している。</p>
	筆で書いて みよう		5	2	○筆の持ち方に気をつけて、いろいろな線を書く。 ○穂先の向きを確かめる。 *筆の持ち方に気をつけて、いろいろな線（直線・曲線、太い線・細い線、横向きの線・縦向きの線）を書く。 *穂先の向きを調べる。	<p>関：適切な姿勢・筆の持ち方で、腕を大きく動かしてのびのびと書くようとしている。 関：毛筆でいろいろな線を書くことができる。 知：正しい穂先の向きを理解している。</p>
	筆圧って 何だろう		8		<p>○筆圧の強弱を考えて、細い線や太い線を書く。 *筆圧の強弱をくふうして、太い線や細い線を書く。 *筆圧とは、筆が紙につくときの穂先に加える力であることを理解する。</p>	<p>関：適切な姿勢・筆の持ち方で、筆圧について学ぼうとしている。 関：筆圧を調整して、太い線や細い線を書き分けることができる。 知：筆圧の強弱と線の太細の関係を理解している。</p>

■筆使い①

6	5
<p>「人」 はらい</p>	<p>「扉」 横画 「二」</p>
16・17	9
2	2
<p>○左右の払いの方向と筆使いに気をつけて書く。 *左右の払いの方向と筆使いに気をつけて書く。 *左払いと右払いの筆使い（始筆・送筆・終筆）を理解する。</p>	<p>○筆の特性を考える。 *筆と鉛筆やフェルトペンとの書き具合の違いを比べ、筆の特性を考える。</p>
<p>知 左右の払いの筆使いを理解している。</p> <p>技 左右の払いの筆使いに気をつけて、「人」を書くことができる。</p> <p>関 適切な姿勢・筆の持ち方で、左右の払いの方向と筆使いに気をつけて書こうとしている。</p> <p>関 毛筆で学習したことを、硬筆で確かめながら書いている。</p>	<p>関 毛筆による学習に興味・関心を持ち、意欲的に取り組もうとしている。</p> <p>関 筆と鉛筆とフェルトペンの書き具合の違いを考えようとしている。</p> <p>関 適切な姿勢・筆の持ち方で、始筆と終筆の筆使いに注意して書こうとしている。</p> <p>関 穂先の向きを確かめている。</p> <p>技 横画の始筆と終筆の筆使いに気をつけて、「二」を書くことができる。</p> <p>知 横画の始筆・送筆・終筆の筆使いを理解している。</p> <p>関 適切な姿勢・筆の持ち方で、縦画の筆使いに気をつけて書こうとしている。</p> <p>関 穂先の向きを確かめている。</p> <p>技 縦画の始筆と終筆の筆使いに気をつけて、「川」を書くことができる。</p> <p>知 縦画の始筆・送筆・終筆の筆使いを理解している。</p> <p>関 適切な姿勢・筆の持ち方で、折れの方向と筆使いに気をつけて書こうとしている。</p> <p>関 毛筆で学習したことを、硬筆で確かめながら書いている。</p> <p>技 折れの筆使いに気をつけて、「日」を書くことができる。</p> <p>知 折れの筆使いを理解している。</p>
<p>「日」 おれ</p>	<p>「川」 たて画</p>
14・15	12・13
2	2
<p>○折れの筆使いに気をつけて書く。 *折れの方向と画の接し方に気をつけて、文字の形を整えて書く。 *折れ「日」の筆使いを理解する。</p>	<p>○縦画の筆使いに気をつけて書く。 *縦画の筆使い（始筆・送筆・終筆）に気をつけて書く。 *縦画「川」の筆使いを理解する。 *始筆の部分の穂先の角度に気をつける。</p>
<p>知 左右の払いの筆使いを理解している。</p> <p>技 左右の払いの筆使いに気をつけて、「人」を書くことができる。</p> <p>関 適切な姿勢・筆の持ち方で、左右の払いの方向と筆使いに気をつけて書こうとしている。</p> <p>関 毛筆で学習したことを、硬筆で確かめながら書いている。</p>	<p>関 適切な姿勢・筆の持ち方で、縦画の筆使いに気をつけて書こうとしている。</p> <p>関 穂先の向きを確かめている。</p> <p>技 縦画の始筆と終筆の筆使いに気をつけて、「川」を書くことができる。</p> <p>知 縦画の始筆・送筆・終筆の筆使いを理解している。</p> <p>関 適切な姿勢・筆の持ち方で、折れの方向と筆使いに気をつけて書こうとしている。</p> <p>関 毛筆で学習したことを、硬筆で確かめながら書いている。</p> <p>技 折れの筆使いに気をつけて、「日」を書くことができる。</p> <p>知 折れの筆使いを理解している。</p>

2	1	12	
	まとめ	「生きる力」	◎ほ先の通り道をたしかめよう
学習を生かして 「小山」 「ゆめ」	三年生のまとめ 「水」	(扉)	
38・39	36・37	35	45～48
2	2	2	34
<p>○書きたい文字を選び、自分でめあてを立てて書く。 *書きたい文字を選び、自分でめあてを立てて書く。 *点画の始筆・送筆・終筆の筆使いや点画の方向・長短に気をつけて、文字の形を整えて書く。 *「、」と「」」の筆使いを理解する。</p>	<p>○三年生で学習した筆使いに気をつけて書く。 *三年生で学習した筆使いに気をつけて、文字の形を整えて書く。 *「」」の筆使いを理解する。</p>	<p>○三年生の書写学習を振り返り、できたことやできなかったことを話し合う。 *三年生の書写学習を振り返り、毛筆の筆使いや字形の整え方などについて、できたことやできなかったことを話し合う。</p>	<p>○墨のついた穂先に色をつけて文字を書き、穂先の通り道を確認する。 *墨のついた穂先に色をつけて文字を書き、穂先の通り道を確認する。</p>
<p>関 文字を選び、自分のめあてを立てて書くこととしてい る。 関 点画の方向や長短、筆使いに気をつけて書くことができる。 知 点画の方向や長短、筆使いを理解している。</p>	<p>関 三年生で学習した筆使いに気をつけて書くこととして いる。 関 画の方向と長さや、それぞれの筆使いに気をつけて、「水」を書くことができる。 知 画の方向と長さや、それぞれの筆使いを理解している。</p>	<p>関 三年生のまとめの学習に、意欲的に取り組もうとしている。 関 目次を開いて、三年生で学習した毛筆の筆使いや文字の組み立て方を振り返ろうとしている。</p>	<p>関 穂先に絵の具をつけて、穂先の通り道を確認しようとしている。 関 穂先の通り道に気をつけて書くことができる。</p>

3		2		
読みやすく書く 書こう	三年生で習う漢字	漢字で遊ぼう	筆使いのまとめ	◆電話メモ
52・表3	49～51	44	42・43	40・41
1	1	0	1	1
<p>○学習したことを生かして、ポスターやはがきなどを書く。</p> <p>*学習したことを生かして、ポスターやはがきなどに、読みやすく丁寧に書く。</p>	<p>○三年生で習う漢字を丁寧に書く。</p> <p>*三年生で学習する漢字を、字形を整えて丁寧に書く。</p>	<p>○漢字の組み合わせ遊びをする。</p> <p>*「三年生で習う漢字」を見ながら、二つの漢字を組み合わせる別の漢字を作る「漢字の組み合わせ遊び」をする。</p>	<p>○三年生で学習した筆使いを確かめる。</p> <p>*三年生で学習した点画の筆使いを確かめ、どの文字のどの部分に使われていたかを振り返る。</p> <p>*主な点画が正しく書けるか、確かめる。</p>	<p>○人の話を聞きながらメモするときのポイントを考える。</p> <p>*人の話を聞きながらメモするときのポイントを考え、大事な事柄を落とさずに、相手にわかりやすく書く。</p> <p>*メモの取り方を理解する。</p>
<p>関ポスターやはがきに文字を書くことに興味・関心を持ち、進んで書くこととしている。</p> <p>関文字の大きさや中心、配列などに気をつけて書くことができる。</p>	<p>関漢字の組み立て方や字形を整えて、正しい筆順で書くこととしている。</p> <p>関漢字の組み立て方や筆順に気をつけて書くことができる。</p>	<p>関漢字の組み合わせ遊びに興味・関心を持ち、意欲的に取り組もうとしている。</p> <p>関漢字の組み合わせを考えて、別の漢字で字形を整えて書いている。</p> <p>知漢字の組み立て方を理解している。</p>	<p>関既習の主な点画がどの文字に使われていたか、進んで確かめようとしている。</p> <p>関既習の筆使いを書くことができる。</p> <p>知穂先の向きや通り道、筆圧などを理解している。</p>	<p>関聞きながら書く時のポイントを考えようとしている。</p> <p>関相手のことを考えて、メモの内容をわかりやすく書くこととしている。</p> <p>関話を聞きながら、大事な事柄を落とさずに書くことができる。</p> <p>知走り書きとまとめ直したメモの違いを理解している。</p>

年間指導計画案（第四学年）

目標（学習のめあて）

- 文字の組み立て方を考えて、形を整えて書く。
- 漢字や仮名の大きさや配列を考えて書く。
- 毛筆を使って、点画の筆使いや種類を考えて書く。

配当時数

34時間

4					月
学習の進め方	文字を見つげよう	用具の置き方をたしかめよう	書くしせいをたしかめよう	筆の持ち方をたしかめよう	単元
					主教材
8	6・7	5	3・4	2	教科書P
2			1		配当時数
<p>○用具のよい持ち方を身につけ、筆の部分の名前を知る。</p> <p>*用具の持ち方を振り返し、適切な持ち方を練習する。</p> <p>*筆の部分の名前を確かめる。</p>					目標と主な学習活動
<p>○毛筆書写のよい姿勢を身につける。</p> <p>*毛筆で書くときの自分の姿勢を振り返し、毛筆書写の適切な姿勢を練習する。</p>					評価規準
<p>○毛筆書写の用具の種類・名称・使い方・置き方・後始末の仕方を知る。</p> <p>*毛筆書写の用具の種類・名称・使い方・置き方・後始末の仕方を確かめ、自分の用具の使い方や取り扱い方を振り返る。</p>					関：関心・意欲・態度 思：思考・判断・表現 技：技能 知：知識・理解
<p>○身の回りにあるいろいろな文字を探す。</p> <p>*身の回りには、いろいろな文字を探し、どのようなものに、どんな用具で書いているかを調べる。</p>					関：関心・意欲・態度 思：思考・判断・表現 知：知識・理解
<p>○書写カードを作成して、学習の進め方を確かめる。</p> <p>*書写学習の学び方を理解し、学習の進め方を確かめる。</p> <p>*書写カードを作成して、めあての立て方や学習の振り返り方を考え、使い方を理解する。</p>					関：関心・意欲・態度 思：思考・判断・表現 知：知識・理解
<p>関 自身の持ち方を振り返し、適切な持ち方で筆や鉛筆を持つようとしている。</p> <p>関 自身の姿勢を振り返し、適切な筆の持ち方で、書く姿勢を適切にしようとしている。</p> <p>関 書く姿勢について、教科書を見て確かめている。</p> <p>知 毛筆で書く時の適切な姿勢を理解している。</p> <p>関 毛筆書写の用具の種類・名称・配置・扱い方などを学ぼうとしている。</p> <p>関 用具の使い方（筆・墨・硯など）や扱い方（置き方・後始末など）について、教科書を見て確かめている。</p> <p>知 用具の使い方や扱い方を理解している。</p> <p>関 身の回りには、いろいろな文字に興味・関心を持ち、進んで調べようとしている。</p> <p>関 身の回りには、いろいろな文字を見つけることができる。</p> <p>知 身の回りには、いろいろな筆記具で書かれた文字があることを理解している。</p> <p>関 書写学習の進め方に関心を持ち、書写カードを効果的に使おうとしている。</p> <p>関 書写カードを作って、めあてを確かめることができる。</p> <p>知 書写学習の進め方や書写カードの使い方を理解している。</p>					

6		5	
■組み立て方			
			(扉)
	[代表] 画の方向と間	[林] へんとつくり	[光] 基本的な筆使い
組み立て方	14・15	12・13	10・11
16・17	2	2	2
<p>○左右の部分の大きさや位置の違いを考えて書く。</p> <p>○上下の部分の大きさの違いを考えて書く。</p> <p>*左右の部分の大きさや位置の違いを考えて、文字の形を整えて書く。</p> <p>*上下の部分の大きさの違いを考えて、文字の形を整えて書く。</p>	<p>○画の方向や、画と画の間を考えて書く。</p> <p>*画の方向や長さ、画と画の間を考えて、文字の形を整えて書く。</p> <p>*「ㄣ」の筆使いを理解する。</p>	<p>○へんとつくりの組み立て方を考えて書く。</p> <p>*へんとつくりの組み立て方を考えて、文字の形を整えて書く。</p> <p>*点画の接し方や交わり方を理解する。</p>	<p>○文字の組み立て方を考える。</p> <p>*文字の部分と部分との組み立て方について考える。</p> <p>○画の接し方や方向を考えて書く。</p> <p>*画の接し方や方向を考えて、文字の形を整えて書く。</p> <p>*「ㄣ」の筆使いを理解する。</p>
<p>知 漢字の組み立て方の原則を理解している。</p> <p>関 漢字の左右・上下の組み立て方を考えて書くこととしている。</p> <p>関 左右・上下の部分の違いを考えて、組み立て方を正しく書くことができる。</p>	<p>関 画の方向や、画と画の間を覚えて書くこととしている。</p> <p>関 画の方向や画と画の間、「ㄣ」の筆使いを理解している。</p> <p>関 画の方向や画と画の間、「ㄣ」の筆使いを考えて、「代表」を書くことができる。</p> <p>関 画の方向や、画と画の間を覚えて書くこととしている。</p> <p>関 毛筆で学習したことを、硬筆で確かめながら書いている。</p> <p>知 漢字が部首になった時の形の変化を理解している。</p>	<p>関 へんとつくりの組み立て方を覚えて書くことができる。</p> <p>関 毛筆で学習したことを、硬筆で確かめながら書いている。</p> <p>関 へんとつくりの組み立て方を覚えて書くこととしている。</p> <p>関 画の接し方や方向、「ㄣ」の筆使いを理解している。</p> <p>関 へんとつくりの組み立て方を覚えて書くことができる。</p>	<p>関 文字の組み立て方に興味・関心を持ち、意欲的に取り組もうとしている。</p> <p>関 文字を正しく組み立てる方法を考えようとしている。</p> <p>関 画の接し方や方向を覚えて書くこととしている。</p> <p>関 毛筆で学習したことを、硬筆で確かめながら書いている。</p> <p>関 画の接し方や方向、「ㄣ」の筆使いに気をつけて「光」を書くことができる。</p>

9		7		6
■字形		◎小筆で書こう		
筆順と字形 「左右」	(扉)		◆観察カード	◆原稿用紙
22~24	21	20	19	18
2		0	1	1
<p>○筆順に気をつけて、字形を整えて書く。</p> <p>*横画と左払いの長さや方向を考え、筆順に気をつけて、字形を整えて書く。</p> <p>*「左」と「右」の漢字の成り立ちを知る。</p>	<p>○字形の整え方を考える。</p> <p>*「必」「成」「飛」の字形の整え方を考える。</p>	<p>○漢字や仮名の大きさ、配列に注意して、小筆でポスターを書く。</p> <p>*小筆を使って「今月のめあて」を書く。</p> <p>*漢字や仮名の大きさ、配列に注意して、文字の形を整えて書く。</p> <p>*小筆の持ち方や使い方、書く姿勢、後始末の仕方を確かめる。</p>	<p>○文字の大きさや行の中心を考えて書く。</p> <p>*文字の大きさや行の中心を考えて、字形を整えて書く。</p> <p>*調べたことをまとめるときのポイントを知る。</p>	<p>○文字の大きさを考えて書く。</p> <p>*原稿用紙の使い方に気をつけて、丁寧に書く。</p> <p>*文字の大きさを考えて、文字の形を整えて書く。</p>
<p>関 筆順に気をつけて、画の長さを考えながら書こうとしている。</p> <p>関 毛筆で学習したことを、硬筆で確かめながら書いている。</p> <p>関 筆順に気をつけて、字形を整えて「左右」を書くことができる。</p> <p>知 筆順と字形の関係を理解している。</p>	<p>関 字形の整え方に興味・関心を持ち、意欲的に取り組もうとしている。</p> <p>関 点画の方向や長さ、交わり方や接し方、文字の中心、組み立て方、筆順など、いろいろな観点から考えようとしている。</p>	<p>関 小筆の使い方に気をつけて、ポスターを書こうとしている。</p> <p>関 漢字や仮名の大きさ、配列に注意して書くことができる。</p> <p>知 小筆の持ち方や使い方を理解している。</p>	<p>関 文字の大きさや行の中心を考えて、観察カードを書こうとしている。</p> <p>関 身の回りの事柄や学習した事柄について疑問に思ったことを調べてまとめようとしている。</p> <p>関 行頭の位置や行の中心を揃えて書くことができる。</p> <p>知 調べたことのまとめ方を理解している。</p>	<p>関 文字の大きさを考えて、原稿用紙に書こうとしている。</p> <p>関 物語や詩を読み、自分の感想をはっきりと書いている。</p> <p>関 文字の大きさや原稿用紙の使い方に気をつけて、一字ずつ丁寧に書くことができる。</p> <p>知 原稿用紙の使い方を理解している。</p>

11	10	9
◆ふうとう	◆案内じょう	筆順 むすび 「すな」
33	32	25
1	1	1
<p>○文字の大きさや配列を考えて書く。 *横書きの封筒に、文字の大きさや配列を考えて、字形を整えて書く。 *横書きの場合の封筒の書き方を理解する。</p>	<p>○文字の大きさや行の中心を考えて書く。 *文字の大きさや行の中心を考えて、字形を整えて書く。 *案内状の書き方を理解する。</p>	<p>○筆順に気をつけて、字形を整えて書く。 *間違えやすい筆順の漢字を知り、正しい筆順で、字形を整えて書く。 ○結びの形を考えて書く。 *平仮名の結びの形を考えて、字形を整えて書く。 *平仮名の結びの筆使いを理解する。</p>
<p>関 文字の大きさや配列を考えて、封筒に書くこととしている。 関 封筒に宛名や住所を正しく書いている。 関 文字の大きさや配列を考えて、封筒の宛名や差出人を書くことができる。 知 横書きの封筒の書き方を理解している。</p>	<p>関 文字の大きさや行の中心を考えて、案内状を書くこととしている。 関 学校行事の案内をする手紙を書いている。 関 文字の大きさや行の中心を考えて書くことができる。 知 案内状の書き方を理解している。</p>	<p>関 筆順に気をつけて、字形を整えて書くこととしている。 関 筆順に気をつけて、字形を整えて書くことができる。 知 間違えやすい筆順の漢字を理解している。 関 結びの形を考えて書くこととしている。 関 毛筆で学習したことを、硬筆で確かめながら書いている。 関 結びの形の違いを考えて、「すな」を書くことができる。 知 いろいろな結びの形があることを理解している。 関 点画の方向と長さを考えて書くこととしている。 関 毛筆で学習したことを、硬筆で確かめながら書いている。 関 点画の方向と長さを考えて、「マラソン」を書くことができる。 知 点画の位置や方向の違いで、別の文字になることを理解している。</p>

2	1		12		◎いろいろな用具
<p>◇見学メモ</p>	<p>学習を生かして 「白鳥」 「こよみ」</p>	<p>四年生のまとめ 「平和」</p>	<p>（扉）</p>	<p>「元氣な子」</p>	<p>◎いろいろな用具や材料を使って文字を書く。</p>
40・41	38・39	36・37	35	45～48	34
1	2	2		2	0
<p>○人の話を聞きながらメモするときのポイントを考える。</p> <p>*人の話を聞きながらメモするときのポイントを考え、要点を素早く正確にメモする。</p> <p>*行の中心や文字の配列に気をつけながら、わかったことを横書きノートにまとめる。</p>	<p>○書きたい文字を選び、自分でめあてを立てて書く。</p> <p>*書きたい文字を選び、自分でめあてを立てて書く。</p> <p>*文字の中心や画と画の間、点画の筆使いなどを考えて、字形を整えて書く。</p> <p>*「フ」と「ニ」の筆使いを理解する。</p>	<p>○文字の中心や「へん」と「つくり」の組み立て方を考えて書く。</p> <p>*文字の中心や「へん」と「つくり」の組み立て方を考えて、字形を整えて書く。</p> <p>*点画の接し方や交わり方を理解する。</p>	<p>○四年生の書写学習を振り返り、できたことやできなかったことを話し合う。</p> <p>*四年生の書写学習を振り返り、毛筆の筆使いや字形の整え方などについて、できたことやできなかったことを話し合う。</p>	<p>○文字の中心、画と画の間などに気をつけて、文字の形を整えて書く。</p> <p>*文字の中心、画と画の間などに気をつけて、文字の形を整えて書く。</p> <p>*文字の大きさや配列を考えて、長半紙におさまりよく書く。</p>	<p>*いろいろな用具や材料を使って文字を書く。</p> <p>*いろいろな用具や材料を使って文字を書き、柔らかさや太さなどの書き具合を比べてみる。</p>
<p>関 いろいろな用具や材料を使って文字を書こうとしている。</p> <p>関 用具や材料による書き具合の違いを理解している。</p> <p>関 長半紙に書くことに興味・関心を持ち、書き初めをしようとしている。</p> <p>関 書写で学習したことを思い出しながら書いている。</p> <p>関 文字の中心や画と画の間などに気をつけて、「元氣な子」を書くことができる。</p> <p>関 長半紙の書き方や、適切な姿勢を理解している。</p>	<p>関 文字の中心や「へん」と「つくり」の組み立て方を考えて書こうとしている。</p> <p>関 文字の中心や組み立て方を考えて、「平和」を書くことができる。</p> <p>関 文字の中心や組み立て方を理解している。</p> <p>関 文字を選び、自分のめあてを立てて書こうとしている。</p> <p>関 文字の中心や画と画の間、筆使いを考えて書くことができる。</p> <p>関 文字の中心や画と画の間、筆使いを理解している。</p>	<p>関 文字の中心や「へん」と「つくり」の組み立て方を考えて書こうとしている。</p> <p>関 文字の中心や組み立て方を考えて、「平和」を書くことができる。</p> <p>関 文字の中心や組み立て方を理解している。</p>	<p>関 四年生のまとめの学習に、意欲的に取り組もうとしている。</p> <p>関 目次を開いて、四年生で学習した毛筆の筆使いや字形の整え方を振り返ろうとしている。</p>	<p>関 四年生の書写学習を振り返り、できたことやできなかったことを話し合う。</p> <p>*四年生の書写学習を振り返り、毛筆の筆使いや字形の整え方などについて、できたことやできなかったことを話し合う。</p>	<p>関 いろいろな用具や材料を使って文字を書こうとしている。</p> <p>関 用具や材料による書き具合の違いを理解している。</p> <p>関 長半紙に書くことに興味・関心を持ち、書き初めをしようとしている。</p> <p>関 書写で学習したことを思い出しながら書いている。</p> <p>関 文字の中心や画と画の間などに気をつけて、「元氣な子」を書くことができる。</p> <p>関 長半紙の書き方や、適切な姿勢を理解している。</p>

3		2	
読みやすく 書く	漢字 四年生で習う	漢字で遊ぼう	筆使いのまとめ
52・表3	49～51	44	42・43
1	1	0	1
<p>○学習したことを生かして、ポスターや感想文などを書く。</p> <p>*学習したことを生かして、ポスターや感想文などの文字を、字形を整えて丁寧に書く。</p>	<p>○四年生で習う漢字を丁寧に書く。</p> <p>*四年生で習う漢字を、字形を整えて丁寧に書く。</p>	<p>○漢字の画数遊びをする。</p> <p>*「四年生で習う漢字」を見ながら、画数一つずつ増やした漢字を書いていく「漢字の画数遊び」をする。</p>	<p>○四年生で学習した筆使いを確かめる。</p> <p>*四年生で学習した点画の筆使いを確かめ、どの文字のどの部分に使われていたかを振り返る。</p> <p>*主な点画が正しく書けるか、確かめる。</p>
<p>関 ポスターや感想文に文字を書くことに興味・関心を持ち、進んで書くこととしている。</p> <p>関 文字の大きさや中心、配列などを考えて書くことができる。</p>	<p>関 漢字の組み立て方や字形を整えて、正しい筆順で書くこととしている。</p> <p>関 漢字の組み立て方や筆順に気をつけて書くことができる。</p>	<p>関 漢字の画数遊びに興味・関心を持ち、意欲的に取り組もうとしている。</p> <p>関 漢字の画数を確かめて、字形を整えて書いている。</p> <p>関 漢字の筆順を理解している。</p>	<p>関 既習の主な点画がどの文字に使われていたか、進んで確かめようとしている。</p> <p>関 既習の筆使いを書くことができる。</p> <p>関 穂先の向きや通り道、筆圧などを理解している。</p>

6		5	
■組み立て方と字形			
	(扉)		
基本的な筆使い 「花」	組み立て方 「土地」	字形 「道」	組み立て方
10・11	12・13	14・15	16・17
2	2	2	2
<p>○四年生までに学習した筆使いを思い出しながら書く。 *四年生までに学習した点画の筆使いを思い出しながら、「花」の三つの部分の組み立て方を考えて、字形を整えて書く。 *「サ」と「し」の筆使いを理解する。</p>	<p>○へんとつくりの組み立て方に気をつけて書く。 *へんとつくりの組み立て方を考えて、字形を整えて書く。 *「土」がへんになったときの形の変化を理解する。</p>	<p>○しんによるのある文字の形に気をつけて書く。 *しんによるのある文字の組み立て方を考えて、字形を整えて書く。 *「え」の筆使いを理解する。 *「によう」の払いと他の部分との位置関係を理解する。</p>	<p>○部分と部分の組み立て方に気をつけて書く。 ○いろいろな部首の漢字を、字形を整えて書く。 *部分と部分との組み立て方を考えて、字形を整えて書く。 *いろいろな部首の漢字を、組み立て方を考えて、字形を整えて書く。</p>
<p>関 これまでに学習した筆使いを思い出し書こうとしている。 関 毛筆で学習したことを、硬筆で確かめながら書いている。 技 「サ」と「し」の筆使いや三つの部分の組み立て方に気をつけて、「花」を書くことができる。 知 「サ」と「し」の筆使いや三つの部分の組み立て方を理解している。</p>	<p>関 へんとつくりの組み立て方に気をつけて書こうとしている。 関 毛筆で学習したことを、硬筆で確かめながら書いている。 技 へんとつくりの組み立て方に気をつけて、「土地」を書くことができる。 知 漢字が部首になった時の形の変化を理解している。</p>	<p>関 しんによるのある文字の形に気をつけて書こうとしている。 関 毛筆で学習したことを、硬筆で確かめながら書いている。 技 「え」の筆使いや組み立て方に気をつけて、「道」を書くことができる。 知 「え」の筆使いや組み立て方を理解している。</p>	<p>関 部分と部分との組み立て方に気をつけて、字形を整えて書こうとしている。 関 部分になった時の形の変化や、文字の中心や正しい筆順に気をつけて、字形を整えて書くことができる。 知 部分になった時の形の変化や、文字の中心や正しい筆順を理解している。</p>

9		7
<p>文字の大きさ 「太陽」</p>	<p>文字の大きさ (扉)</p>	<p>◎筆記具を選ん で書こう</p>
22・23	21	20
2	0	1
<p>○文字の大きさや筆圧に気をつけて書く。 *文字の大きさや筆圧に気をつけて、字形を整えて書く。 *「F」の筆使いを理解する。</p>	<p>○読みやすくするためのくふうを考える。 *読みやすく書くために気をつけることを話し合う。</p>	<p>○手書き文字と活字をどのように使い分けるか、話し合う。 *手書き文字と活字の違いについて話し合い、それぞれの特徴を生かした使い方を考える。</p>
<p>知文字の大きさや筆圧に気をつけて書こうとしている。 知伝記を読み、自分の感想をはっきりと書いている。 知文字の大きさや原稿用紙の使い方に気をつけて、字形を整えて書くことができる。 知原稿用紙の使い方を理解している。 知行の中心や文字の大きさに気をつけて、読書カードを書こうとしている。 知自分が読んだ本の良さを多くの人に伝えられるように、くふうして書いている。 知行の中心や文字の大きさに気をつけて、字形を整えて書くことができる。 知読んだ本の紹介の仕方を理解している。</p>	<p>知文字の大きさと配列に興味・関心を持ち、意欲的に取り組もうとしている。 知文字の大きさや字間の空け方、余白の取り方など、読みやすくするためのポイントを見つけようとしている。</p>	<p>知手書き文字と活字を場面や目的によって使い分けることを理解している。 知文字の大きさと配列に興味・関心を持ち、意欲的に話し合おうとしている。 知手書き文字と活字の違いや良さを見つけて、発表することができる。 知手書き文字と活字を場面や目的によって使い分けることを理解している。</p>
<p>◆読書カード</p>	<p>◆原稿用紙</p>	19
1	1	<p>○行の中心や文字の大きさに注意して書く。 *行の中心や文字の大きさに気をつけて、曲がらないように書く。 *横書きの書き方を理解する。</p>
<p>知行の中心や文字の大きさに気をつけて、読書カードを書こうとしている。 知自分が読んだ本の良さを多くの人に伝えられるように、くふうして書いている。 知行の中心や文字の大きさに気をつけて、字形を整えて書くことができる。 知読んだ本の紹介の仕方を理解している。</p>	<p>知原稿用紙の使い方を理解し、文字の大きさに気をつけて書く。 *原稿用紙の使い方を理解し、文字の大きさに気をつけて、丁寧に書く。</p>	

11		10	9
◆絵はがき	配列	大きさと配列 「実りの秋」	ひらがなの形 「ふれあい」
32	30・31	28・29	24～26
1	2	2	2
<p>○文字の大きさや配列に気をつけて書く。 *文字の大きさや配列に気をつけて、読みやすく書く。 *絵はがきの書き方を理解する。</p>	<p>○毛筆で学習したことを生かして書く。 *毛筆で学習したことを生かして、文字の形や大きさ、配列に気をつけて、行を整えて書く。</p>	<p>○漢字と平仮名の大きさや配列に気をつけて書く。 *漢字と平仮名の大きさや配列に気をつけて、半紙におさまりよく書く。</p>	<p>○平仮名の形と行の中心、点画のつながりに気をつけて書く。 *平仮名の形や行の中心を考えて配列をくふうし、半紙におさまりよく書く。 *平仮名の点画のつながりと筆使いを理解する。</p>
<p>関 文字の大きさや配列に気をつけて、絵はがきを書くこととしていく。 関 見たり聞いたりしたことを交えながら、自分の感想を書いていく。 関 文字の大きさや配列に気をつけて、相手の住所や名前、差出人を書くことができる。 知 絵はがきの書き方を理解している。</p>	<p>関 文字の形や大きさ、行の中心に気をつけて書くこととしている。 関 毛筆で学習したことを生かそうとしている。 関 行の中心や文字の大きさ、字間などに気をつけて配列よく書くことができる。 知 配列よく書くための方法を理解している。</p>	<p>関 漢字と平仮名の大きさや配列に気をつけて書くこととしている。 関 毛筆で学習したことを、硬筆で確かめながら書いている。 関 文字の大きさや配列に気をつけて、「実りの秋」を書くことができる。 知 配列よく書くための方法を理解している。</p>	<p>関 平仮名の形や行の中心、点画のつながりに気をつけて書くこととしている。 関 毛筆で学習したことを、硬筆で確かめながら書いている。 関 字形と配列に気をつけて、点画のつながりを考えながら、「ふれあい」を書くことができる。 知 配列よく書くための方法を理解している。</p>

1		12		11	
目 まとめ		美 つづい		漢 字で遊ぼつ	
五 年生のまとめ 「成長」				◆ お知らせ	
36・37		35		34	
2		2		0	
<p>○文字の形や筆順に気をつけて書く。 *筆順と画の接し方、文字の中心を考えて、字形を整えて書く。 *「ㄣ」の筆使いを理解する。</p>		<p>○五年生の書写学習を振り返り、できたことやできなかったことを話し合う。 *五年生の書写学習を振り返り、毛筆の筆使いと点画のつながり、漢字の組み立て方、文字の大きさと配列などについて、できたことやできなかったことを話し合う。</p>		<p>○用具の特徴を生かして、配列よく書く。 *目的に合った用具を選び、文字の大きさや配列に気をつけて、わかりやすく書く。 *わかりやすく書く書き方を理解する。</p>	
<p>関文字の形や筆順に気をつけて書こうとしている。 関毛筆で学習したことを、硬筆で確かめながら書いている。 技「ㄣ」の筆使いや筆順と画の接し方に気をつけて、「成長」を書くことができる。 知「ㄣ」の筆使いや筆順と画の接し方を理解している。</p>		<p>関五年生のまとめの学習に、意欲的に取り組もうとしている。 関目次を開いて、五年生で学習した毛筆の筆使いや字形の整え方を振り返ろうとしている。 関長半紙に書くことに興味・関心を持ち、書き初めをしようとしている。 関書写で学習したことを思い出しながら書いている。 技文字の形や大きさに気をつけて、「美しい心」を書くことができる。 知穂先の動きや点画のつながりを理解している。</p>		<p>関用具の特徴を生かして、掲示物を配列よく書こうとしている。 関目的や意図に合わせて、読み手によくわかる書き方をくふうしている。 技目的に合った用具を選び、わかりやすく伝えるためのくふうをして書くことができる。 知わかりやすく書く書き方を理解している。 関漢字のしりとりに興味・関心を持ち、意欲的に取り組もうとしている。 技漢字の部分を確かめて、字形を整えて書いている。 知漢字の組み立て方を理解している。</p>	

	3		2		
☆行書で書いて みよう	読みやすく 書く	漢字 五年生で習う	筆使いのまとめ	話し合いメモ	学習を生かして 「出発」 「ペン立て」
44	52・表3	49～51	42・43	40・41	38・39
0	1	1	1	1	2
○行書の書き表し方で詩の一節を書いてみる。 *点画のつながりを意識して、書く速さに気をつけながら文字を書く。 *ふだん書いている文字と、行書の書き表し方の違いを見つける。	○学習したことを生かして、ポスターやノートなどを書く。 *学習したことを生かして、ポスターやノートなどに、いろいろな用具を使って文字を書く。	○五年生で習う漢字を丁寧に書く。 *五年生で習う漢字を、字形を整えて丁寧に書く。	○五年生で学習した筆使いを確かめる。 *五年生で学習した点画の筆使いを確かめ、どの文字のどの部分に使われていたかを振り返る。 *主な点画が正しく書けるか、確かめる。	○聞きながらメモするときのポイントを考える。 *人の話を聞きながらメモするときのポイントを確かめ、要点をメモする。 *メモしたことをまとめ、ノートに読みやすく書く。 *メモするときと、決まったことを丁寧に書くときの書く速さの違いを理解する。	○書きたい文字を選び、自分でめあてを立てて書く。 *書きたい文字を選び、自分でめあてを立てて書く。 *文字の大きさと配列に気をつけて、半紙におさまりよく書く。 *「ハ」の筆使いと点画のつながりを理解する。
	関 ポスターやノートなどに文字を書くことに興味・関心を持ち、進んで書くようとしている。 関 文字の大きさや中心、配列などを考えて書くことができる。	関 ポスターやノートなどに文字を書くことに興味・関心を持ち、進んで書くようとしている。 関 漢字の組み立て方や字形を整えて、正しい筆順で書くことができる。	関 既習の主な点画がどの文字に使われていたか、進んで確かめようとしている。 関 既習の筆使いを書くことができる。 関 穂先の向きや通り道、筆圧などを理解している。	関 場面と書く速さの関係を考えようとしている。 関 場面と書く速さの関係を考えようとしている。 関 場面と書く速さの関係を考えようとしている。 関 場面と書く速さの関係を考えようとしている。 関 場面と書く速さの関係を考えようとしている。	関 文字を選び、自分のめあてを立てて書くようとしている。 関 正しい筆順や配列に気をつけて書くことができる。 関 正しい筆順や配列をよく書くための方法を理解している。

年間指導計画案（第六学年）

月	単元	主教材	教科書P	配当時数
	持ち方を 確かめよう		2	1
	書く姿勢を 確かめよう		3	
	準備と後始末を 確かめよう		4	2
	学習の進め方		5	
	文字の歴史を 探ろう		6・7	
4				
目標と主な学習活動				
<p>○筆記具の持ち方を確かめ、よい持ち方を身につける。 *筆記具の持ち方を確かめ、適切な持ち方ができるように練習する。</p> <p>○毛筆書写のよい姿勢を確かめ、身につける。 *毛筆で書くときの姿勢を確かめ、練習する。</p> <p>○毛筆書写の用具の種類・名称・使い方・置き方・後始末の仕方を確かめる。 *用具の種類・名称・使い方・置き方・後始末の仕方を確かめ、準備や後始末がきちんとできているかを振り返る。</p> <p>○学習の進め方を確かめる。 *書写学習の学び方を理解し、学習の進め方を確かめる。</p> <p>○漢字・片仮名・平仮名の由来を知る。 *漢字・片仮名・平仮名の由来を知る。</p>				
<p>評価規準 関：関心・意欲・態度 思：思考・判断・表現 知：知識・理解 関：技能</p> <p>関 自分の持ち方を振り返り、適切な持ち方で筆や鉛筆を持つようとしている。 思 筆や鉛筆の適切な姿勢・鉛筆の持ち方について、教科書を見て確かめている。 知 筆記具の適切な持ち方を理解している。</p> <p>関 適切な筆の持ち方で、書く姿勢を適切にしようとしている。 思 書く姿勢について、教科書を見て確かめている。 知 毛筆で書く時の適切な姿勢を理解している。</p> <p>関 用具を正しく丁寧に取扱いようとしている。 思 用具の種類・名称・使い方（筆・墨・硯など）や扱い方（置き方・後始末など）について、教科書を見て確かめている。 知 用具の種類・名称・使い方や扱い方を理解している。</p> <p>関 書写学習の進め方を意欲的に確かめようとしている。 思 書写学習の進め方を確かめて、自分の書写学習に生かそうとしている。 知 書写学習の進め方を理解している。</p> <p>関 文字の由来について興味・関心を持ち、進んで調べようとしている。 関 漢字・平仮名・片仮名の由来や字源について、図書館やインターネットを利用して調べることができる。 知 文字がどのようにして生まれたかを理解している。</p>				

目標（学習のめあて）

- 目的に応じた文字の大きさや配列、書く速さを考えて書く。
- 筆記具を選び、その特徴を生かして書く。
- 毛筆を使って、穂先の動きと点画のつながりを考えて書く。

配当時数

34時間

6	5	4
		4 ぶり返って みよう
組み立て方 「湖」	字形 「野原」	■組み立て方と 字形 (扉)
14・15	12・13	8
2	2	2
○三つの部分の組み立て方を考えて書く。 ＊三つの部分の組み立て方を考えて、字形を整えて書く。 ＊「シ」の筆使い（穂先の動きと点画のつながり）を理解する。	○組み立て方を考えて、字形を整えて書く。 ＊部分と部分との組み立て方を考えて、字形を整えて書く。 ＊「たれ」のある漢字の組み立て方を理解する。	○五年生までの書写学習で学んだことを思い出し、話し合う。 ＊五年生までの書写学習で学んだことを振り返り、文字を正しく整えて書くためのポイントを確かめる。
関 三つの部分の組み立て方を考えて書くこととしている。 愚 毛筆で学習したことを、硬筆で確かめながら書いている。 技 「たれ」のある漢字の組み立て方と中心を考えて、「野原」を書くことができる。 知 「たれ」のある漢字の組み立て方と中心を理解している。 関 文字の組み立て方と字形の整え方を考えて書くこととしている。 愚 毛筆で学習したことを、硬筆で確かめながら書いている。 技 文字の組み立て方と字形の整え方を考えて、「泉」を書くことができる。 知 文字の組み立て方と字形の整え方を理解している。	関 これまでに学習した点画の筆使いを思い出して書くこととしている。 愚 毛筆で学習したことを、硬筆で確かめながら書いている。 技 文字の組み立て方と字形の整え方を考えて、「泉」を書くことができる。 知 文字の組み立て方と字形の整え方を理解している。	関 文字を整えて書くために気をつけることを、意欲的に考えようとしている。 技 五年生までに学習したことを思い出し、話し合うことができる。 知 文字を正しく整えて書くためのポイントを理解している。 関 文字の組み立て方と字形の整え方に興味・関心を持ち、意欲的に取り組もうとしている。 愚 三つの部分からなる漢字の組み立て方を考えようとしている。

9		7		6
<p>文字の大きさと配列</p>	<p>筆記員を選ん で書く</p>			
		<p>◆レポート</p>	<p>◆手紙</p>	<p>字形の整え方</p>
<p>21</p>	<p>20</p>	<p>19</p>	<p>18</p>	<p>16・17</p>
<p>2</p>	<p>0</p>	<p>1</p>	<p>1</p>	<p>2</p>
<p>○読みやすくするためのくふうを考える。 *読みやすく書くためのくふうを考える。</p>	<p>○書く場面に応じた用具を選択し、その理由を話し合う。 *書く場面に応じて使う用具を選び、その理由を話し合う。</p>	<p>○形式に従い、わかりやすく丁寧に書く。 *形式に従い、文字の大きさや配列を考えて、わかりやすく丁寧に書く。</p>	<p>○行の中心や配列を考えて書く。 *行の中心や配列を考えて、依頼の手紙を書く。 *依頼の手紙の書き方を理解する。</p>	<p>○文字を整えて書くための要点を確かめながら書く。 *文字を整えて書くための要点を確かめながら、正しく書く。</p>
<p>関文字の大きさと配列に興味・関心を持ち、意欲的に取り組もうとしている。 関読みやすく書くためのくふうを見つけようとしている。</p>	<p>関筆記具の特徴を考えて、場面に応じた筆記具を選び、意欲的に話し合おうとしている。 関なぜその筆記具を選んだかを発表することができる。 知場面や目的によって筆記具を使い分けけることを理解している。</p>	<p>関形式に従い、わかりやすく丁寧にレポートを書くこととしている。 関児童一人一人が課題を持ち、その活動報告を書いている。 関文字の大きさや配列を考えて、行が曲がらないように書くことができる。 知レポートの書き方を理解している。</p>	<p>関行の中心や配列を考えて、丁寧に文字や言葉使用で書くことができる。 知依頼の手紙の書き方を理解している。</p>	<p>関字形を整えて書くための要点を確かめて書くこととしている。 関要点を確かめて、文字を正しく整えて書くことができる。 知文字を整えて書くための要点を理解している。</p>

	文字の中心と配列 「メモを取る」	大きさと配列 「タヤケ雲」	筆順	文字の大きさ 「飛ぶ」
30・31	28・29	26・27	25	22～24
2	2	2	1	
<p>○毛筆で学習したことを生かして書く。 *毛筆で学習したことを生かし、文字の形や大きさ、配列を考え、行を整えて書く。</p>	<p>○文字の中心と配列を考えて書く。 *文字の中心と配列を考えて、半紙におさまりよく書く。 *行の中心に文字の中心を揃えて書くと、行が曲がらないことを理解する。</p>	<p>○漢字と平仮名の大きさや配列を考えて書く。 *漢字と平仮名の大きさや配列を考えて、半紙におさまりよく書く。 *配列よく書くための方法を理解する。 *「雲」の筆使いを理解する。</p>	<p>○間違えやすい筆順に気をつけて書く。 *間違えやすい筆順に気をつけて、字形を整えて書く。</p>	<p>○筆順を確かめながら、文字の大きさを考えて書く。 *筆順を確かめながら、文字の大きさのつり合いを考えて書く。 *「ぶ」の筆使いを理解する。</p>
<p>関 文字の形や大きさ、行の中心に気をつけて書くこととしている。 思 毛筆で学習したことを生かそうとしている。 技 行の中心や文字の大きさ、字間などに気をつけて配列よく書くことができる。 知 配列よく書くための方法を理解している。</p>	<p>関 文字の中心と配列を考えて書くこととしている。 思 毛筆で学習したことを、硬筆で確かめながら書いている。 技 文字の大きさや行の中心を考えて、「メモを取る」を書くことができる。 知 文字の大きさや行の中心を理解している。</p>	<p>関 漢字と平仮名の大きさや配列を考えて書くこととしている。 技 「雲」の筆使いや配列を考えて、「タヤケ雲」を書くことができる。 知 「雲」の筆使いや配列よく書くためのポイントを理解している。</p>	<p>関 間違えやすい筆順に気をつけて書くこととしている。 技 正しい筆順を確かめて書くことができる。 知 正しい筆順と整った字形の関係を理解している。</p>	<p>関 筆順を確かめながら、文字の大きさを考えて書くこととしている。 思 毛筆で学習したことを、硬筆で確かめながら書いている。 技 「ぶ」の筆使いや筆順を確かめて、「飛ぶ」を書くことができる。 知 文字の大きさや配列を理解している。</p>

1	12		11
<p style="text-align: center;">目 ま と め</p> <p style="text-align: center;">(扉)</p>	<p style="text-align: center;">「希望の朝」</p>	<p style="text-align: center;">漢字で遊ぼう</p>	<p style="text-align: center;">◆好きな言葉</p>
<p style="text-align: center;">六年生のまとめ 「熱意」 「永遠」</p>			
36・37	35	45～48	34
2	2	0	2
<p>○書きたい文字を選び、自分でめあてを立てて書く。 *書きたい文字を選び、自分のめあてを立てて書く。 *三つの部分の組み立て方と「心」「心」の筆使いを考えて、「熱意」を書く。 *基本点画の筆使いや穂先の動きと点画のつながりを考えて、「永遠」を書く。</p>	<p>○六年間の書写学習を振り返り、できたことやできなかったことを話し合う。 *六年間の書写学習を振り返り、毛筆の筆使いや字形の整え方、文字の大きさや配列などについて、できたことやできなかったことを話し合う。</p>	<p>○漢字の部首や部分で遊ぶ。 *「六年生で習う漢字」を見ながら、同じ部首や部分を選んで組み合わせるとできる漢字を探し、字形を整えて書く。</p>	<p>○筆記具や用紙を選んで、配列よく書く。 *筆記具や用紙を選んで、好きな言葉を配列よく書く。 *消しゴムのはんこの作り方を知る。</p>
<p>関 文字を選び、自分のめあてを立てて書くこととしている。 関 組み立て方や筆使いに気をつけて書くことができる。 関 組み立て方や筆使いを理解している。</p>	<p>関 六年間のまとめの学習に、意欲的に取り組もうとしている。 関 目次を開いて、六年生で学習した毛筆の筆使いや字形の整え方を振り返ろうとしている。</p>	<p>関 漢字の部首や部分に興味・関心を持ち、意欲的に取り組もうとしている。 関 長半紙に書くことに興味・関心を持ち、書き初めをしようとしている。 関 書写で学習したことを思い出しながら書いている。 関 文字の形や大きさ、組み立て方を考えて、「希望の朝」を書くことができる。 関 穂先の動きや点画のつながりを理解している。</p>	<p>関 筆記具や用紙を選んで、配列よく書くこととしている。 関 日常生活の中に、書写の力を活用している。 関 好きな言葉を選び、筆記具や用紙を選んで配列よく書くことができる。 関 これまでに学習したことを理解している。</p>

☆行書で書いて みよう	3		2		
	読みやすく 書こう	六年生で習う 漢字	筆使いのまとめ	◇料理メモ	学習を生かして
44	52・表3	49～51	42・43	40・41	38・39
0	1	1	1	1	2
<p>○行書の書き表し方で俳句を書いてみる。 *点画を続けたり、点画の形や方向を変えて文字を速く書く。 *行書の書き表し方を知る。</p>	<p>○学習したことを生かして、ポスターや感想文などを書く。 *学習したことを生かして、ポスターや感想文などの文字を丁寧に書く。</p>	<p>○六年生で習う漢字を丁寧に書く。 *六年生で習う漢字を、字形を整えて丁寧に書く。</p>	<p>○六年生で学習した筆使いを確かめる。 *六年生で学習した点画の筆使いを確かめ、どの文字のどの部分に使われていたかを振り返る。 *主な点画が正しく書けるか、確かめる。</p>	<p>○聞きながらメモするときのポイントを考える。 *料理番組など、テレビを見ながらメモするときのポイントを考える。 *テレビを見ながら取ったメモをまとめ、ノートに読みやすく書く。</p>	<p>○行の中心や配列を考えて書く。 *文字の大きさや行の中心、字間、余白などを考えて、有名な詩や古典の一部を配列よく書く。</p>
<p>関ポスターや感想文などに文字を書くことに興味・関心を持ち、進んで書こうとしている。 関文字の大きさや中心、配列などを考えて書くことができる。</p>	<p>関有名な詩や古典に興味を持ち、行の中心や配列を考えて書こうとしている。 関行の中心や配列を考えて書くことができる。 知これまでに学習したことを理解している。</p>	<p>関漢字の組み立て方や字形を整えて、正しい筆順で書こうとしている。 関漢字の組み立て方や筆順に気をつけて書くことができる。</p>	<p>関既習の主な点画がどの文字に使われていたか、進んで確かめようとしている。 関既習の筆使いを書くことができる。 関穂先の向きや通り道、筆圧などを理解している。</p>	<p>関聞きながら書く時のポイントを考えようとしている。 関書く速さを考えて書いている。 関場面に合った速さを考えて書くことができる。 関速く書かなければならない時と、ゆっくり丁寧に書かなければならない時があることを理解している。</p>	<p>関有名な詩や古典に興味を持ち、行の中心や配列を考えて書こうとしている。 関行の中心や配列を考えて書くことができる。 知これまでに学習したことを理解している。</p>